

1	農産物直販事業
1-1	山清水米直販
<p>・平成26年産米</p> <p>山清水米の全生産者が新潟県の「特別栽培米」の認証を取得し、若米会様に160俵(9,600kg)出荷致しました。一般販売分としては、「山清水米」8,061.05kg、「超特選 農薬・化学肥料不使用『山清水米』はざかけ米」(以下はざかけ米)965kgを出荷致しました。</p> <p>・平成27年産米</p> <p>和日米会様の「限界集落プロジェクト(郷プロジェクト)」に107俵(6,420kg)、農民連に35俵(2,100kg)、食と農を考える飛渡の会(食農会)に61.5俵(3,690kg)出荷致しました。一般配売分としては3月末時点の発送済と予約分で6694.95kg、はざかけ米799.35kgの販売量となっています。</p>	
1-2	農業生産
<p>2014年度の秋にNPO法人として農業参入を果たした事で、2015年度から法人として耕地を借りて稲作を開始する事が出来ました。約1町歩の面積の田んぼを耕作しました。この他に学校給食に出すための作物としてジャガイモ、キャベツを栽培・出荷しました。</p> <p>また、ポップコーンを大量に栽培し、約70kg収穫しました。これらは農薬化学肥料不使用の自家製ポップコーンとして市内各地のイベントに出店して販売しました。</p> <p>9月より農の雇用事業を活用して農業部門の研修生という事で1年間「食と農を考える飛渡の会」のインターン生として焼野集落に住んでいた馬場豊君を採用し、若い農業の後継者を増やすことができました。</p>	
1-3	加工品開発・販売
<p>関東・関西エリアの寺社を中心に販促を実施、新規で兵庫県神社・寺院から注文がありました。既存の東京の神社向けの出荷も堅調、取引先の神社からは、参拝客が増えたとのことのお言葉をいただきました。</p> <p>白がゆ・野菜がゆ・山菜炊込みご飯の素・豚角煮大根の加工品と山清水米をセットにし、十日町カタログギフト第3版に掲載。当法人でも十日町市厳選食材ギフトセットで各種セット商品を設定販売しました。来年度は、既存の商品で販売の良いものにラインナップを絞り込み、事業の収益化を図っていきたくと思っています。</p>	
2	体験交流事業
<p>2015年度は計9回のイベントを開催し、のべ参加人数は393名となりました。また、交流人口は814名でした。</p> <p>・池谷の山菜を楽しみ尽くす会!</p> <p>「山村へ行こう!」を企画変更し、日帰りのイベントとして開催いたしました。首都圏の方をはじめ十日町市内からもご参加いただき、村人と一緒に山菜採りと山菜料理を楽しみました。</p> <p>・田んぼへ行こう!</p> <p>無農薬・無化学肥料のはざかけ米の田植え、稲刈り・はざかけを行いました。稲刈り・はざかけの回では、参加者の希望により多田事務局長の飼育する廃鶏のと畜を行いました。普段見えない「命をいただく」過程を見ることができた、とご感想をいただきました。</p> <p>・めぶきお披露目会</p> <p>新規就農者育成住宅「めぶき」が完成したことにもない、寄付者・関係者の方などをお招きしてお</p>	

披露目をいたしました。当日は 57 人と大勢の方がお越し下さり、ともに池谷集落の新しい希望の完成を喜びました。

・やまなかマルシェ in いけたに

今年度初の試みとして、池谷分校でマルシェを行いました。市内外から飲食店や雑貨店など 11 店舗に出店いただき、初めてにも関わらず約 150 人のお客様をお迎えし大変好評でした。

市内の方でも池谷集落を訪れたことのない方が多く、集落を知っていただくよききっかけになったと思います。

・敬和学園修養会

新潟市の敬和学園高等学校の生徒さんたちが奉仕活動に来てくださいました。いくつかのグループに分かれ、村人の農作業や実行委員会の田んぼの稲刈りをお手伝いいただきました。

また、修養会に参加できなかった生徒さんが2月の池谷雪かき道場にご参加くださいました。

・収穫祭

2005年に始まった収穫祭も第10回目となり、第10回記念収穫祭として開催いたしました。

第1部では市内竹所（たけどころ）集落在住の建築家カール・ベクス氏にご講演いただきました。また、パネルディスカッションでは市内津池（ついで）集落のシェアハウスオーナー西村治久氏、長岡市の公益社団法人中越防災安全推進機構の阿部巧氏からもお話しいただきました。

恒例の懇親会では余興も盛りだくさんで、大賑わいとなりました。

・池谷雪かき道場

本年度から「越後雪かき道場」を主催する NPO 法人中越防災フロンティア様からのれん分けをいただき、「池谷雪かき道場」として開催することになりました。

初級ではかんじきやスノーダンプの指導、中級では安全帯を使用しての命綱講習を行いました。

3	移住促進事業
---	--------

3-1	十日町市への移住促進
-----	------------

十日町市役所から事業委託を受け、以下3つの取組を実施しました。

・移住相談会への出展

新潟県が主催する「にいがた暮らしセミナー」「TURNS カフェ」「ツマリカフェ」等各種移住相談会に出展し、十日町市のPRを行いました。個別相談も合わせて全体で 86 組 98 名の移住相談に応じ、7 組 11 名の方が十日町市に 2015 年度中に移住しました。

さとナビ（移住希望者向け情報サイト）の運営

・十日町市への移住・交流情報を掲載したホームページ

「さとナビ」のリニューアルを行い、市内各地に十日町の情報を発信してくれる「さと記者」を組織して発信するようになりました。その結果、月間の閲覧数が約3倍になりました。

さとナビ：<http://www.tsukurou-tokamachi.jp/>

・地域おこし協力隊世話人情報交換会実施

地域おこし協力隊など外部からの人材を上手く受け入れる地域を増やすために、市内の地域おこし協力隊受入地域向けに「地域おこし協力隊世話人情報交換会」を実施しました。

3-2	インターンシップ受入
-----	------------

十日町市内各地にインターンシップ受入のコーディネートを行いました。新たに飛渡地区の三ツ山集

落が、インターンシップ受入地域先となりました。

【受入地域・団体（計6か所）】

池谷集落、中立山集落、千年の市じろばた、
竹所集落、三ツ山集落、食と農を考える飛渡の会

【受入人数】

1年間 ・・・ 4名
1～2カ月間 ・・・ 5名
合計 ・・・ 9名

このうち4組5名が、インターンシップ終了後も十日町市内に住み続けています。

3-3 住宅建設プロジェクト

新規就農者育成住宅「めぶき」が完成しました。これまでご寄付頂いたり、作業のお手伝いをして下さった皆様方のご協力なしには成し得なかった事です。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

入居者第一号は、当法人の農業部門の職員として採用された馬場豊君です。（9月に入居）

雪が降る前に、建設時に余った丸太をチェーンソーで製材して、車庫を自作しました。2016年度の4月からは地域おこし協力隊員を受け入れる事も決まり、未来の池谷集落の担い手を育成する取り組みが徐々に形になってきました。

4 地域復興支援員設置事業

前年度に引き続き、十日町市役所との連携事業「地域復興支援員設置事業（通称：里山プロジェクト）」として、十日町市内全域の中山間地支援について幅広く活動を行いました。

・地産地消への取組

【学校給食】

重点的に取り組んだ事として、引き続き学校給食の地産地消を進める取り組みを行いました。現場ではやれる事は十分行いましたので、これ以上地産地消率を向上させていくためには給食の全体的な仕組みを変えていく事が必要になってきます。

【各地域の取組】

○旧十日町地域（東下組地区）

「下条高原の棚田を守る会」のお米の販売額は年々伸びています。また、この先時間の余裕が見込まれる会員の中からは少しずつ地域を担う新たな意識が芽生えつつあります。地域生産物の委託販売の広がりも、当該地域の活性化に寄与しています。

○松代地域

さるなし研究会の加工品開発で、実だけでなく、葉を化粧品用のオイルとして出荷できることになり、栽培面積の増加や会員の増加が今後の目標となる変化の大きな1年となりました。

○松之山地域

既存の直売所に、過去に直売所を運営していた生産者を含めた集約化の動きを支援しました。60才以上の生産者がやりがいを持って出荷する場所づくりができました。

・観光客の受け入れ環境の向上

「ホッとひと駅」のノボリ旗設置作業や広報誌の設置を行いました。川西地域では直売所「千年の市じろばた」の2016年度のリニューアルオープンに向けて、新メニュー作り、値段改定、食券作成、食

券導入、facebook による情報発信、POP 作成、チラシ作成などの改善支援を行ったり、インターン生受入の支援も行いました。各地域での交流事業の支援も活発に行いました。新たに強化された事として海外からのインバウンド対応の支援も開始しました。

・地域おこし協力隊サポート

地域おこし協力隊の支援も重点的に取り組みました。協力隊員への会議等でのアドバイスや研修の実施以外にも、拠点先担当者や地域の受入世話人との情報共有も行いました。

・その他の取組

集落機能補完の取組として、旧十日町地域では東下組地区の「さわらび長寿会」や集落安心づくり事業の事務作業や行事の開催支援を行いました。

松代地域で社会福祉協議会と連携した高齢者体操教室（地域サロン）の開催支援を田野倉、孟地、犬伏、千年、桐山、木和田原集落で計 50 回行いました。また、松代ゲートボール協会の大会支援も行いました。

川西地域では大白倉集落の「バイトウ」をはじめとする集落行事の開催支援やパソコン教室を行いました。

5	情報発信・農山漁村応援事業
---	---------------

5-1	情報発信
-----	------

・視察

17 団体 252 名の方にお越し頂きました。

・講演

34 会場に訪れ、2371 名の方に聞いて頂きました。講演を聞いた方から個別に新たな依頼を頂くようになり、地域おこしのモデルを全国各地に広めていくという事が少しずつ形になってきています。

5-2	農山漁村応援
-----	--------

農林水産省の「農村集落活性化支援事業」という仕組みを活用し、飛渡（とびたり）地区（池谷集落を含む 14 集落）全体の将来ビジョンを作るための支援をしました。

事前に飛渡地区振興会の役員会、総会等で説明を行い、その後、各集落の集会場をまわって説明会を開催しました。飛渡地区の有志が集まったワークショップの運営を行い、「農業」「交流」「福祉・教育」の 3 部会に分かれて将来ビジョン実現のための活動が開始されました。

また、石川県羽咋市神子原地区への先進地視察を手配しました。飛渡地区が集落をまたがってまとめた取り組みを行う中で、比較的若手の人達も活動に参加しはじめた事はとても意義深い事だと感じます。

6	管理部門
---	------

6-1	メディア掲載
-----	--------

・新聞

2015 年 9 月 妻有新聞、十日町新聞 2016 年 1 月 讀賣新聞 など

・テレビ

2015 年 9 月 テレビ新潟 2016 年 3 月 NHKE テレ など

・雑誌他

2015 年 4 月 地上、ソトコト 2016 年 1 月 女性自身

特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会
2015年度 事業報告